

2020年第3四半期決算（日本語抄訳）

プレスリリース

パリ、2020年11月5日

2020年第3四半期の主要決算指標：業績回復を確認

営業総利益は2019年第3四半期比**14.6%増***と大幅に改善

全業務において収益は回復：2020年第2四半期比**9.7%増**（2019年第3四半期比**0.5%増***）

営業費用は減少：2019年第3四半期比**8.2%減**（**5.6%減***）、2019年1～9月期比**6.5%減**（**4.5%減***）

グループ全体において、伸び率で収益が費用を上回る効果

2020年第3四半期のリスク費用は**40**ベースポイントと2020年第2四半期を大幅に下回る

グループ当期純利益：**8億6,200万ユーロ**（2019年第3四半期比**9.8%増***）

グループ基礎当期純利益：2020年第3四半期は**7億4,200万ユーロ**、2020年1～9月期は**8億300万ユーロ**

普通株式等Tier 1比率は**13.2%⁽¹⁾**と大幅に改善

普通株式等Tier 1には1株当たり**0.21ユーロ⁽²⁾**の配当準備金が含まれている

高水準の自己資本（規制要件に対して約**420**ベースポイントのバッファ）および、株主資本利益率における当グループの高い柔軟性

2020年の目標

基礎営業費用の目標：**165億ユーロ**程度

リスク費用：**70**ベースポイント程度

2020年末時点の普通株式等Tier 1比率の目標：**12%**を上回る水準

ソシエテ・ジェネラル・グループは経済活動への寄与

グループ全体の政府保証融資申請額：**200億ユーロ**超

新エネルギーへの移行に対するコミットメント

2025年までに石油・ガス採取セクターに対するエクスポージャーの**10%削減**を目指す：

- 移行期にある再生可能エネルギーやガスへの優先的な資金供給を通じて、顧客のエネルギー転換を支援
- 米国でのオンショア石油・ガス採取事業への新規資金供給（埋蔵量ベースの貸出）の中止

当グループの最高経営責任者であるフレデリック・ウデアは次のように述べています：

「ソシエテ・ジェネラル・グループの第3四半期決算は、ロックダウン（都市封鎖）という特異な期間の後に全事業部門の業績が回復するとともに、依然として非常に不透明な環境に適応することが可能であることを実証するものとなりました。また、当グループ事業の進展、経費の管理、厳格なリスク管理などへの取り組みが奏功しました。資産の質と自己資本の水準双方において健全性の高いバランスシートを維持することにより、堅実な事業基盤のもと新たな戦略計画を策定することができました。当グループはチーム一丸となって、現在直面している健康・経済危機および長期間にわたり、お客さまのエネルギー転換やデジタル・トランスフォーメーションを支援することを目指し、さらに、さまざまな事業において付加価値と競争力を一段と強化していく所存です。」

本書の脚注*はグループ編成の変更および為替レートの変動による影響の修正再表示後の数値を示す

(1) IFRS第9号の段階的導入に伴う+19ベースポイントおよび2020年10月1日付のSGフィナンスの売却の影響（約+10ベースポイント）を含む

(2) 超劣後債および永久劣後債に係る利息控除後の2020年1～9月期のグループ基礎当期純利益の50%に相当する

グループ連結決算

(単位：百万ユーロ)	2020年 第3四半期	2019年 第3四半期	増減		2020年 1-9月期	2019年 1-9月期	増減	
銀行業務純利益	5,809	5,983	-2.9%	+0.5%*	16,275	18,458	-11.8%	-9.4%*
営業費用	(3,825)	(4,165)	-8.2%	-5.6%*	(12,363)	(13,224)	-6.5%	-4.5%*
基礎営業費用 ⁽¹⁾	(4,002)	(4,317)	-7.3%	-4.8%*	(12,186)	(12,816)	-4.9%	-2.8%*
営業総利益	1,984	1,818	+9.1%	+14.6%*	3,912	5,234	-25.3%	-22.3%*
基礎営業総利益 ⁽¹⁾	1,807	1,666	+8.5%	+14.4%*	4,089	5,642	-27.5%	-24.9%*
純リスク費用	(518)	(329)	+57.4%	+67.7%*	(2,617)	(907)	x 2.9	x 3.0*
営業利益	1,466	1,489	-1.5%	+2.9%*	1,295	4,327	-70.1%	-69.6%*
基礎営業利益 ⁽¹⁾	1,289	1,337	-3.6%	+1.3%*	1,472	4,753	-69.0%	-68.6%*
その他の資産からの純損益	(2)	(71)	+97.2%	+97.2%*	82	(202)	n/s	n/s
その他の資産からの基礎純損益 ⁽¹⁾	(2)	42	n/s	n/s	159	47	X3.4	X3.3*
のれんの減損損失	0	0	n/s	n/s	(684)	0	n/s	n/s
法人所得税	(467)	(389)	+20.1%	+20.1%*	(1,079)	(1,034)	+4.4%	+23.0%*
グループ報告当期純利益	862	854	+0.9%*	+9.8%*	(728)	2,594	n/s	n/s
グループ基礎当期純利益⁽¹⁾	742	855	-13.2%	-5.9%*	803	3,183	-74.8%	-74.7%*
ROE	5.7%	5.3%			-3.0%	5.5%		
ROTE	6.5%	6.1%			-1.4%	6.7%		
基礎ROTE ⁽¹⁾	5.5%	6.1%			1.0%	8.1%		

(1) 特別項目およびIFRIC第21号による影響の線形化の修正再表示後

2020年11月4日に開催されたロレンツォ・ビーニ・スマギを議長とするソシエテ・ジェネラルの取締役会において、ソシエテ・ジェネラル・グループの2020年第3四半期および1～9月期の業績が承認された。

基礎データから公表データへの移行に伴う様々な修正再表示については、英文資料の付属書類2の第5項（英文）を参照のこと。

— 中略 —

連結貸借対照表

資産の部（単位：百万ユーロ）

	2020年9月30日	2019年12月31日
現金および中央銀行預け金	165,215	102,311
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産	435,295	385,739
ヘッジ目的デリバティブ	21,657	16,837
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	53,511	53,256
償却原価で測定する有価証券	15,094	12,489
償却原価で測定する銀行預け金	52,119	56,366
償却原価で測定する顧客貸出金	453,930	450,244
金利リスクをヘッジしたポートフォリオの再評価差額	422	401
保険事業の投資	164,533	164,938
税金資産	4,862	5,779
その他の資産	68,188	68,045
売却目的保有非流動資産	3,775	4,507
持分法適用投資	100	112
有形および無形固定資産	29,590	30,652
のれん	4,046	4,627
合計	1,472,337	1,356,303

負債の部（単位：百万ユーロ）

	2020年9月30日	2019年12月31日
中央銀行預り金	4,958	4,097
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債	411,727	364,129
ヘッジ目的デリバティブ	12,409	10,212
発行債券	133,084	125,168
銀行預り金	137,676	107,929
顧客預金	445,226	418,612
金利リスクをヘッジしたポートフォリオの再評価差額	8,338	6,671
税金負債	1,330	1,409
その他の負債	90,218	85,062
売却目的保有非流動負債	791	1,333
保険契約関連負債	141,687	144,259
引当金	4,415	4,387
劣後債務	14,768	14,465
負債合計	1,406,627	1,287,733
株主資本		
株主資本、グループ持分		
発行済普通株式、資本性金融商品および資本準備金	30,157	31,102
利益剰余金	32,362	29,558
純利益	(728)	3,248
小計	61,791	63,908
未実現・繰延キャピタル損益	(1,198)	(381)
資本、グループ持分小計	60,593	63,527
非支配持分	5,117	5,043
資本合計	65,710	68,570
合計	1,472,337	1,356,303

— 中略 —

ソシエテ・ジェネラル

ソシエテ・ジェネラルはユーロ圏最大級の金融サービスグループです。多角的かつ総合的なバンキングモデルを採用しています。強固な財務基盤を維持し、イノベーションにおける専門性で高い実績を有しています。持続可能な成長を目標とする経営戦略を実行しており、お客さまから信頼されるパートナーとなり、地域社会と経済に有益な変化をもたらすことを目指しています。また、信頼のおける革新的な金融商品およびサービスの提供を通じて、日々、お客さまとともに良い持続可能な未来を築くことに努めています。

ソシエテ・ジェネラルは、確固たる地位を築いている欧州を拠点に世界に広がるネットワークを通じて150年以上にわたり世界経済において重要な役割を果たしています。世界62カ国の拠点に13万8,000人を超える従業員を擁し、2,900万の個人、法人、機関投資家のお客さまに様々なアドバイザリー・サービスと顧客ニーズに合わせた金融ソリューションを提供しています。

当グループは、以下3つの主力業務部門から構成されています。

- ・ フランス国内リテールバンキング部門：ソシエテ・ジェネラルの支店網とクレディ・デュノール、ブルソラマのブランド名で、最先端のデジタル技術を駆使した総合的な金融サービスを多様な販売チャネルを通じて提供しています。
- ・ 国際リテールバンキング&金融サービス部門：新興国および専門性の高い主要金融ビジネスにおいて主導的地位を築いています。
- ・ グローバルバンキング&インベスターソリューションズ部門：定評ある高い専門性、統合型ソリューションを主要な市場で提供しています。

ソシエテ・ジェネラルは、社会的責任投資指数の代表格であるダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス（世界および欧州）、FTSE4Good（世界および欧州）、Euronext Vigeo（世界、欧州、ユーロ圏）、4つのSTOXX ESG リーダーズ指数、MSCI低炭素リーダーズ指数の構成銘柄です。

詳しくは当社のウェブサイトwww.societegenerale.comまたはツイッター@societegeneraleをご覧ください。